

石巻漁港の栈橋復旧工事を受注
～『ジャケット式栈橋』により被災した栈橋の復旧に着手～

JFE エンジニアリング株式会社（社長：岸本純幸、本社：東京都千代田区）は、総合評価方式の入札により、東日本大震災で被災した石巻漁港の栈橋災害復旧工事を受注しましたのでお知らせします。

石巻漁港は地震により大きな地盤沈下を引き起こし、栈橋高さが被災前に比べ約 1.4m 低い状態となっています。そのため、大潮や満潮時には栈橋が冠水するなどの状態が続いています。当漁港は日本でも有数の大規模漁港であるため、早期の復旧が望まれていました。

既設コンクリート栈橋は、上部コンクリートが地震により損傷しましたが、それを支える鋼管杭の一部は健全な状態でした。そこで当社は、既設の上部コンクリートを撤去した後に経済的に復旧する工法として、健全な既設鋼管杭と新たな鋼管杭の上に鋼製ジャケットを被せて栈橋を再構築するというジャケット式栈橋工法を提案しました。

同工法は、鋼材をトラス形式に自由に組合せることで軽量かつ高い耐震性を有しています。さらに工場製作による大ブロック化が可能なためコンクリート栈橋と比較して現地作業を半分以下に工程短縮できるというメリットがあります。

当社は、今後も現地状況に即した提案を迅速に行い、震災復旧・復興に貢献できる技術を提供してまいります。

■ 受注工事概要

- | | |
|---------|--|
| 1. 発注者 | : 宮城県 |
| 2. 工事名 | : 石巻漁港-7.0m 栈橋外災害復旧（その2）工事 |
| 3. 工事場所 | : 宮城県石巻市魚町一丁目地先 石巻漁港 |
| 4. 工事概要 | : ジャケット12基の製作
復旧延長 720mのうち(今回受注分470m) |
| 5. 工期 | : 2012年12月14日 ～ 2014年3月28日 |

■ 石巻漁港

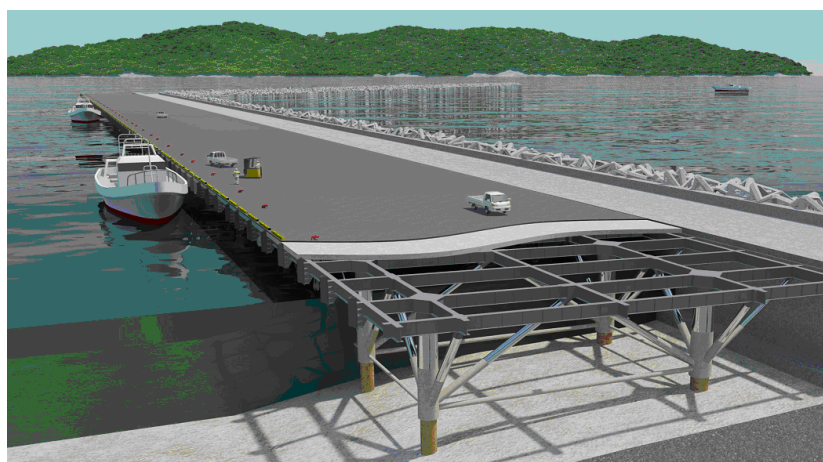
▼全景



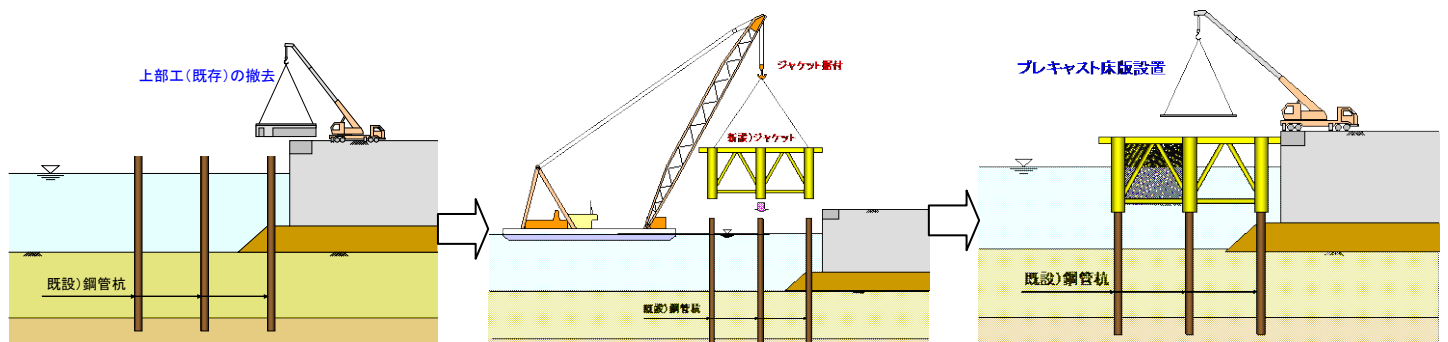
▼沈下した栈橋（満潮時の様子）



▼完成予想図



■ 栈橋復旧の施工手順



※鋼管杭は、栈橋全体延長 720m のうち新設杭 (470m)、既設杭 (250m)

本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。
JFEエンジニアリング株式会社 総務部広報室